2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	発達障害治療学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期　金1・2	教室名	403教室
担当教員	淺野　広太	実務経験とその関連資格	作業療法士として、発達障害分野で従事している。			

《授業科目における学習内容》

小児期の基本的な発達とその関わり方について理解する。
各発達障害について定義や診断基準を知り、発達の評価について学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

定期試験(100%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

【教科書】エビデンスでひもとく発達障害作業療法―神経発達症の理解と支援［第1版］(シービーアール)

《授業外における学習方法》

講義の予習、復習を通して、実際のアプローチの基本になる、各疾患、発達障害への理解を深める。

《履修に当たっての留意点》

発達について知識をもつことは、成人、小児どちらの臨床現場でも役立つと思います。
復習をしっかりしながら、理解を深めましょう。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚統合理論の概要について理解できる。	配布資料 教科書	【事前学習】正常発達の確認(30分) 【事後学習】本講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	感覚統合理論の概要について学ぶ。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚統合理論の概要について理解できる。	配布資料 教科書	【事前学習】正常発達の確認(30分) 【事後学習】本講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	感覚統合理論の概要について学ぶ。		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚調整障害の評価について理解できる。	配布資料 教科書	【事前学習】発達障害についての復習(30分) 【事後学習】本講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	JSI-R、感覚プロファイルについて学ぶ。		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	感覚ベースの運動障害について理解できる。	配布資料 教科書	【事前学習】発達障害についての復習(30分) 【事後学習】本講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	感覚ベースの運動障害の症状、評価について学ぶ。		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	感覚ベースの運動障害について理解できる。	配布資料 教科書	【事前学習】正常発達の復習(30分) 【事後学習】本講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	感覚ベースの運動障害の症状、評価について学ぶ。		

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚統合療法について理解できる。	配布資料 教科書	【事前学習】正常発達・月齢の確認(30分) 【事後学習】本講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	感覚統合療法について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	読み書き障害について理解できる。	配布資料 教科書	【事前学習】姿勢反射の復習・姿勢の呼称復習(30分) 【事後学習】本講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	読みの障害について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	読み書き障害について理解できる。	配布資料 教科書	【事前学習】正常発達・月齢の確認(30分) 【事後学習】本講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	読みの障害について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	読み書き障害について理解できる。	配布資料 教科書	【事前学習】正常発達・月齢の復習(30分) 【事後学習】本講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	書きの障害について学ぶ。		
第10回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	読み書き障害について理解できる。	配布資料 教科書	【事前学習】正常発達・月齢の復習((30分) 【事後学習】本講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	書きの障害について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	読み書き障害について理解できる。	配布資料 教科書	【事前学習】正常発達・月齢の復習(30分) 【事後学習】本講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	読み書きの文具について学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達性協調運動障害について理解できる。	配布資料 教科書	【事前学習】正常発達・月齢の確認(30分) 【事後学習】本講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	発達性協調運動障害について学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達性協調運動障害について理解できる。	配布資料 教科書	【事前学習】正常発達・月齢の確認(30分) 【事後学習】本講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	発達性協調運動障害について学ぶ。		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	発達性協調運動障害について理解できる。	配布資料	【事前学習】動作分析の復習、運動学の復習(30分) 【事後学習】本講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	発達性協調運動障害について学ぶ。		
第15回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	発達性協調運動障害について理解できる。	配布資料	【事前学習】前回の講義の復習(30分) 【事後学習】今までの全講義の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	発達性協調運動障害について学ぶ。		